

令和 2年度 基本事業評価シート （令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 01 調和の取れた市域の形成
基本事業 03 空き家対策の推進
主管課： 都市計画課
関係課： 生活環境課、交通防災課、建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
中古住宅、空き家、空き店舗	中古住宅の活用や、特定空家への対応強化など、空き家の活用と適切な管理を進める。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の空き家実態の把握 (%) 都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	100.00	100.00	100.00		100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度に空家実態調査を行い、今後は5年ごとに調査を行う予定です。 （原因）調査結果は、住宅数23,422戸の内、空家件数は520戸で空家率は2.2%との実態となっている。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

空き家利活用の方針明確化 (%) 都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	100.00	100.00	100.00		100.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成29年に空家対策計画を策定を行い、また、空家の利活用のため茨城県宅地建物取引業協会と協定を締結し空家バンクを創設しました。 （原因）空家等対策計画の策定により方針が明確化されたため、具体的な取組みとして、予防策の取組、利活用への取組、管理不全の解消への取組を行っていく。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度 決 算	H30年度 決 算	R01年度 決 算	R02年度 予 算	R03年度 見 込
事業費合計	7,087	47	46	117	117
人件費	4,432	3,127	2,285	0	0
トータルコスト	11,519	3,174	2,331	117	117

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

管理不全の空家に対し指導を行うとともに、特定空家に認定した2件に対し引続き是正指導を行いました。 引続き管理不全の空家に対し指導を行うとともに、空家バンクの利用促進を図り管理不全の空家の減少を目指します。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]